

3月 22日 **自衛隊新入隊者を激励**



新入隊者の奥村幸太さん(中央左)と今徳清さん(中央右)

宮崎県防衛協会串間支部と串間市自衛隊家族会は、自衛隊新入隊者の門出を祝う「自衛隊新入隊者激励会」を市役所で行いました。防衛大学校生や自衛官となる本市出身の2人が出席。会では市長が「国民の安心安全のためには皆さんのような若い力が必要。今後日本を担う自衛官として活躍を期待している」と激励。防衛大学校に入校する今徳清さんは「いついかなる時も頼りにされる一人前の自衛官を目指し、串間出身者の誇りを胸に精進していきたい」と謝辞を述べました。

3月 25日 **認知症理解をテーマにした俳句作品で全国優秀賞受賞**

認知症への理解をテーマにした「キッズサポーター作品」(全国キャラバン・メイト連絡協議会主催)で、福島小学校5年生(取材当時)の鈴木莉織さんの俳句が、県内初の優秀賞を受賞しました。この作品募集は、認知症サポーター養成講座を受講した児童、生徒を対象に2017年度から実施。今回は作品、俳句、短歌などに全国から158作品の応募があり、優秀賞2作品のうちの一つに選ばれました。表彰式は同小学校で行われ、鈴木さんは「受賞できると思わなかったのととてもうれしい。今後はさらに高齢者に優しく接していきたい」と話していました。



作品は「だいじょうぶ ぼくらがいるよ すぐそばに」

4月 14日 **串間ライオンズクラブが 岬馬のオブジェ寄贈**



除幕式にはライオンズクラブ会員や同駅関係者ら約30人が出席しました

串間ライオンズクラブは、道の駅「くしま」の4月24日のプレオープンを前に、国の天然記念物に指定されている岬馬のオブジェを寄贈しました。同クラブは献血や清掃など地域に根差した活動を行っており、昨年60周年を迎え「皆さんに喜んでもらえることをしたい」と今回寄贈を決めました。オブジェは2人掛けのベンチ型で、同駅内の南側駐車場付近に設置しています。同駅で行われた除幕式で同クラブの佐藤利和会長は「気軽に座って写真を撮ってもらえたらうれしい」と話していました。

3月 11日 **福島高生が地域創生学発表会で 地域活性化に向けた策を提案**



最優秀賞に輝いた医療A(エクササイズ)班の発表の様子



実際に生徒が作成したエクササイズ動画の公開もありました

福島高校は地元の活性化策などについて学ぶ「地域創生学」の発表会を市文化会館で開きました。探求クラスの2年生30人(取材当時)が串間中学校生や保護者らを前に発表。生徒たちは「教育、医療、国際」など各分野の6班に分かれて、昨年6月末から調査・研究を行ってきました。最優秀賞には「健康的な体づくり～手軽にできるエクササイズ～」をテーマにした班が選出。市民の健康増進に簡単なエクササイズの動画視聴が効果的と推察し、特定健診の受診率向上や病気の早期発見・治療にもつながると訴えました。発表を担当した岩村和樹さんは「エクササイズを通して健康意識を高めてもらい、特定健診を受けてもらえたら」と話していました。

3月 19日 **秋山小児童が特産品を使ったスイーツ開発**



スイーツを開発した児童ら



タルトの上には串間産のイチゴと生クリームが添えられています

秋山小学校の6年生3人(取材当時)と道の駅「くしま」の指定管理者である株式会社海山社中がスイーツを開発しました。児童たちは地元の活性化策などを学ぶ「くしま学」で、地元特産品を使ったスイーツの開発が道の駅の集客増につながると考え、1年を通して試作品の制作や海山社中の関係者らに提案などを行ってきました。その中で、海山社中の社員で菓子職人の川田好文さんが実現に向けて協力。児童たちのアイデアを生かして試作品を作り、一緒に試食を繰り返して完成にこぎつけました。商品名は「ハピいもちゃんのスマイルタルト」。スイートポテトやイモのペーストなど串間産の甘藷をふんだんに使用しており、とろけるような食感と程よい甘さが口いっぱい広がります。開発に携わった山崎美砂さんは「考えてきたことが実現できてうれしい。ぜひ多くの人に食べてもらいたい」と笑顔で話していました。スイーツは今後同駅で販売される予定です。